

科目名	日本語学史1～2
授業の目標・ねらい	日本語研究の歴史を通し、日本語学をより深く理解することを目指します。日本語学(国語学)には、長い歴史の蓄積があります。その中における重要な研究成果を概観することで、現代日本語についても理解を深めていきたいと考えています。
授業内容・授業方法	日本語学史における重要な研究成果について学びます。また、その研究が現代の日本語にどうかかわっているかについても学びます。 1回目:近世以前の日本語研究 2回目:近代以後の日本語研究
予習・復習	予習・復習: 日本語学(音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、等)の基礎的な概念について、復習しておくこと、授業が分かりやすくなると思います。授業後も、関連する現代日本語の内容と結びつけて、理解を深めてください。
使用テキスト	
参考書等	
講師名	杉山俊一郎
所属	東洋大学文学部
研究分野	国語史(日本語史)学
講師紹介	日本語の文法、語彙、文体が、どのように変化してきたのかに興味があります。現在は、特に格と格助詞の歴史を中心的な研究課題として日々勉強を続けています。